

2012年3月4日（木）神戸新聞（北播）わがまち

展示中の作品の数々。それぞれに思い出の文章も添えられている



東条川疏水フォトコンテスト

写真が語る 私と水の物語

大阪大学の学生らが中心となり、地域の魅力を再発見する「コネク」を写真展が加東市大神のカフェ「シャレード」で開かれている。タイトルは「東条川疏水フォトコンテスト」。

加東、小野、三木市の土地を潤す同疏水をテーマに、ツイッターやインスタグラムなどから思い入れのある写真の投稿を呼び掛けた。店内には竹炭の作品と共に思い出のエピソードも添えられ、疏水を語る物語が来店者の目を引き寄せている。

（中西大一）

大阪の教育研究拠点「COOサインセンター」と北播圏県民局の主催、「コネク」で社会課題の解決を模索する「ソーシャル・イノベーション」の受講生らが企画した。

東条川疏水は、雨が降らない流域の水不足を解消するため1951年に完成した福川ダムを主な水源とする108キロの水路

加東のカフェ

大阪大学の学生らを中心に、地域の魅力を再発見する「コネク」を写真展が加東市大神のカフェ「シャレード」で開かれている。タイトルは「東条川疏水フォトコンテスト」。

加東、小野、三木市の土地を潤す同疏水をテーマに、ツイッターやインスタグラムなどから思い入れのある写真の投稿を呼び掛けた。店内には竹炭の作品と共に思い出のエピソードも添えられ、疏水を語る物語が来店者の目を引き寄せている。

（中西大一）

思い出話添え47点展示

写真の物語性を重視するため応募時は1枚に込めたエピソードも合わせた投稿を呼び掛けた。昨年未だ今年まで未だ約90点が寄せられた。

原因は、水路に輝く夕紅華が映ることで水の輝きを伝える写真の趣が、水質の「盲根サイフォン」など疏水施設を自然に溶け込んだ形態を撮影した作品が評価された。

入店不可。期間中は社高校生活科学部の生徒とシャレードが共同で運営した特別メニュー、大井田部分水をデザインした缶と加東市産のジャムを併せたソーダを販売している。

加東市産ジャムを使ったソーダ
 ① 疏水開通施設の一つ、水を分配するパイプ井田部分水をデザインした缶（サイフォン）から出る水はジャムを添えたソーダ



ソーダ



ピザ



作業を展示しているカフェ「シャレード」の店内の様子も加東市大神